

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		傷痍軍人会運営支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☒ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名	古武城 卓
	施策	16	高齢者・障害者の自立促進と社会参加				所属課	福祉課	担当者名	狩野紀彦
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進				所属班	社会福祉班	(内線)	2136
予算科目		会計 1	款 3	項 1	目 1	事業連番 10427	法令根拠	合志市補助金交付規則		成果優先度評価結果
										コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度		☒ 21年度で終了	☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 ～ 年度) ☐ 期間限定複数年度(～ 年度)			

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市が戦争に出兵された方々に対して敬意を表し、不戦、平和活動に対しての傷痍軍人会へ補助金を支出する。 昭和38年戦傷病者戦没者遺族等援護法施行 平成18年度合志市補助金交付規則 ・戦後60年がたち高齢化が進み、さらに傷病の状況も進んでいる。 ・会自体が役職をやる方が少なくなり、会の解散等も検討されている。 H22年度より戦傷病者等支援事業に統合
【業務の流れ】	①事業承認申請書を受理②審査③補助金の内示④補助金交付申請書を受理⑤補助金の交付決定、通知⑥概算払申請書を受理⑦補助金の交付⑧実績報告書を受理⑨補助金の確定、通知(合志市補助金等交付規則による) ・役員会、総会への参加
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・傷痍軍人会より補助金の減額は避けてほしいとの要望があった。 ・会自体が役職をやる方が少なくなり、会の解散等も検討されている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)		H22年度より戦傷病者等支援事業に統合	
市が戦争に出兵された方々に対して敬意を表し、不戦、平和活動に対しての傷痍軍人会へ補助金を支出した			
20年度同様補助金を支出するが、集中改革プランに則り削減を図る。			
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標		(単位)	(単位)
⇒ ア 申請・受付・交付決定・支払い・実績報告、処理時間		H	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標	
傷痍軍人会会員		ア 会員数	人
		⇒ イ	イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標	
戦争に出兵された方々に対して敬意を表する。不戦の誓いのもと、経験を伝えていく。		ア 広報等へ戦争に対しての記事掲載件数	件
		⇒ イ	イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	
④ 活動指標	ア	H		10	10	10				
	イ									
⑤ 対象指標	ア	人		21	20	20				
	イ									
⑥ 成果指標	ア	件		1	1	1				
	イ									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
			繰入金	千円						
			一般財源	千円		30	30	0		
			(A) 事業費計	千円	0	30	30	0	0	0
			(A)のうち指定経費	千円						
			(A)のうち時間外、特効	千円						
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	1			
		延べ業務時間	時間		15	20	15			
		(B)人件費計	千円	0	60	80	60	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	90	110	60	0	0	0

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

合志市

事務事業名	傷痍軍人会運営支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【理由】			
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】			
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】			
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】			
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】			
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】			
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】			
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】			

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<